

●表紙イラスト



視線入力アーティスト 三浦 りん氏

2002年岩手県一関市生まれ。
生後三か月の時に発症した難治性てんかんウエスト症候群により、身体と知的に重い障がいがあるが、「視線入力」に出会い、大きな瞳で心象風景を描く。岩手県立大学社会福祉学部の聴講生としてキャンパスライフを送るなど、地域でたくさんの人と交流することを目標としている。
*視線入力アートは、島根大学開発の視線入力訓練アプリ「EyeMoT」を使用して描いています。

●表紙写真

- ①全国防災イベントでのセンター取組紹介
- ②防災士取得に向けた救急救命講習
- ③ハザードマップでの図上演習
- ④防災訓練での防災グッズ展示・解説
- ⑤ドローンパイロット隊育成訓練

まずは、お気軽にご相談ください



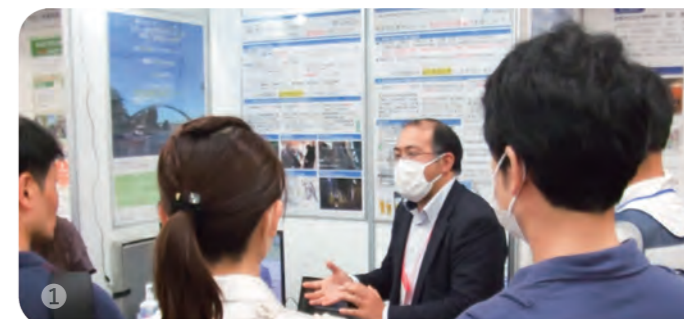
岩手県立大学防災復興支援センター
TEL:019-694-3330
mail:ipu-bousai@ml.iwate-pu.ac.jp
web:<https://www.iwate-pu-bousai.jp/>



岩手県立大学は、様々な専門分野から
みなさんの防災・復興を支援する
活動を行なっています。

復興の「先」を考える。

rin



私たちのミッション

地域の防災力向上に資する支援活動

地域の災害対応の体制構築、地区防災活動・避難訓練支援、防災マップ作成支援等、地域が抱える防災活動上の課題解決に尽力します。

次の大災害から生き残るための調査研究活動

- ①避難訓練や要支援者等個別避難計画作成、避難所運営等の『避難対策』
- ②自主防災組織や仕組み等の『防災体制強化』
- ③ソフト・ハード両面からの『まちづくり』
- ④産業振興や雇用創出による『なりわいの再生』
- ⑤経験や教訓を後世に残す『伝承・発信・教育』

防災・復興に係るこれらの項目を中心に、課題の解決策等を調査研究し、成果の共有・発信を行います。

次の大災害から生き残る力を備えた人材育成活動

学生の約半数が岩手県内に就職する地域に根ざした公立大学の特性を生かし、自らと家族が災害から生き残る『自助』の力、地域住民の一員として、コミュニティとの協働のもと、災害から生き残る『共助』の力を有する人材育成・輩出に取り組みます。

これらを実現するべく、地域防災の担い手として防災士資格の取得や災害時ボランティアの育成等に取り組みます。

岩手県立大学では、2011年4月に「岩手県立大学災害復興支援センター」を設置し、東日本大震災等により被災した地域の復興を、教職員及び学生のボランティア活動並びに専門性を持つ教職員の派遣等を通じて支援してきました。

同センターの設置から11年、この間、岩手県では、激甚化する風水害等の新たな災害を経験し、地域のニーズは「東日本大震災からの復興支援」から、震災の教訓を踏まえた「次の大災害への備え」へと変化しつつあります。

これを受け、岩手県立大学は、2023年、災害復興支援センターを改組し、新たに「防災復興支援センター」を設置し、地域の防災力向上に資する支援活動、調査研究活動、人材育成活動等に取り組んでいます。

被災地復興支援活動に加えて、次の大災害から生き残るため、地域の防災力向上に資する支援活動、調査研究活動、人材育成活動等に取り組みます。

支援メニュー（一例）



地区の災害時の対応をまとめた地区防災計画を、一緒に作成
地区防災計画策定支援

地区防災アドバイザーの派遣

東北地方の地区防災計画策定に携わってきた教員が、ワークショップ、計画書の立案から運営支援・内容の見直しに至るまで、トータルに支援します。

地区防災計画の内容の文章化・地図化の支援

地区防災計画策定における地区として決まった内容の文章化・地図化をお手伝いします。

地区防災計画の内容の検証としての避難訓練実施の支援

作った地区防災計画を検証する避難訓練の企画・運営・振り返り等の支援、計画の見直しを一緒にを行います。



災害時に「逃げる」意識のつくり方から、伴走支援
避難行動要支援者の個別避難計画作成支援

研修講師の派遣

災害時に自ら避難することが困難な高齢者や障害者等の個別避難計画作成のための研修会や、ワークショップ開催のために講師派遣を行い、「避難する」意識づくりを支援します。

避難訓練実施の支援

作成した個別避難計画をもとにした、福祉避難所設置避難訓練のお手伝いをします。実際に作った個別避難計画でスムーズに行動することができるか、道順はどうか、市町村と受け入れ施設との調整に問題はないのか、実践訓練を行います。



夜間、厳冬期…いつおこるかわからない災害に備える
様々な状況を想定した避難訓練支援

避難訓練アドバイザーの派遣

東北地方の避難訓練監修・運営支援に携わってきた教員が、訓練内容の立案から当日の運営支援、訓練の振り返りに至るまで、トータルに支援します。

避難訓練ボランティア学生の派遣

訓練の記録・写真撮影・避難者役等、訓練活動を支える学生ボランティアを派遣します。

訓練当日の各種機材の貸出・デモの実施

避難訓練運営にあると便利な「避難場所案内旗」、「スピーカーセット」、「非常用電源装置」「防災用ドローン」、「一週間分の備蓄食糧」等を持参し、デモを行います。



その他、ご要望にあわせて支援内容を調整
防災・復興教育、ボランティアなど

例えば、小中高等学校等で行われる防災・復興教育における出前授業を承ります。ゲームを通じて学ぶ避難所運営、ハザードマップでの図上演習等、楽しみながら防災を考えることを、教員や学生がお手伝いします。



地区防災計画策定のため、地域でハザードマップ勉強会を実施



ワークショップ形式で、地区防災計画策定を支援



ワークショップ形式で、マイタイムラインや個別避難計画の作成、さらに机上訓練を実施



作成した個別避難計画をもとに実際に避難訓練を実施



夜間避難訓練の監修・運営支援



避難訓練等への学生ボランティア派遣も可



避難所運営ゲーム「HUG」を中学・高校で実施



ハザードマップでの図上演習（DIG）を中学・高校で実施